



担当=DZHフィナンシャルリサーチ・石原敬子

トムソン・ロイターのフィナンシャル・リスク部門の名称はRefinitiv(リフィニティブ)に変わりました

知りたい

投信 なるほど
リッパー

7月までの資金動向

新たなESG投信へ資金流入

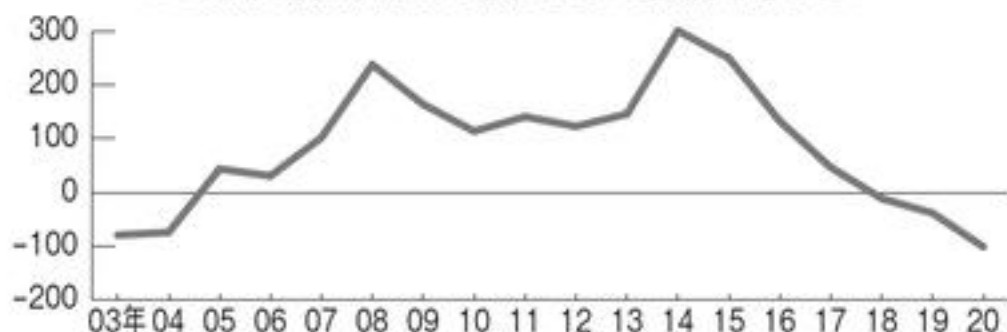
7月の投資信託市場には資金が集まりました。リッパーの推計では、国内で販売されている上場投資信託(ETF)以外の株式オープン投信は、7月に5073億円の純流入。1カ月に5000億円を超える純流入は、2018年10月以来です。1～7月の累計では、ETF以外の株式オープン投信合計で1.5兆円の純流入で、ETFを含めると7.1兆円の純流入でした。

新規設定が多く、33本の新しい投信が誕生。一方、償還本数は依然として高水準で、最近では、新規設定の本数より償還本数の方が多いため、投信本数全体が減少しています。なお、このグラフは、季節性を考慮して、毎年1～7月の累計で比較しています。

7月に新規設定した「グローバルESGハイクオリティ成長株式ファンド(為替ヘッジなし)」は、募集期間内に

7月は、久しぶりに投信の

ここ数年、新規設定より償還される投信の方が多い



国内で販売されている公募投信について、設定本数から償還本数を差し引いた。MRF、不動産投信(REIT)を除く。比較しやすいよう、いずれの年も1～7月の累計でそろえた

■資金純流出入額ランキング(2020年1～7月)

順位	ファンド名(☆は20年新設、★は償還済み)	資金純流入額(百万円)
〈純流入額トップ5〉		
1	☆グローバルESGハイクオリティ成長株式ファンド(為替ヘッジなし)(アセットマネジメントOne)	409,768
2	ティー・ロウ・プライス 米国成長株式ファンド	162,033
3	ピクテグローバルインカム株式(毎月分配)	161,180
4	☆GSフューチャー・テクノロジー・リーダーズBコース(為替ヘッジなし)	147,751
5	アライアンス・パースタイン・米国成長株投信Dコース毎月決算型(為替ヘッジなし) 予想分配金提示型	125,037
〈純流出額トップ5〉		
1	ひふみプラス(レオス)	-78,156
2	グローバル全生物ゲノム株式ファンド(1年決算型)(日興)	-72,886
3	★アムンディ・ダブルウォッチ	-63,865
4	野村インド株投資	-56,590
5	ロボット・テクノロジー関連株ファンド -ロボテック-(大和)	-56,355

上場投資信託(ETF)を除く株式オープン投信について設定額から解約・償還額を差し引いた。リッパー推計

3830億円を集めた後、7月末に4098億円まで流入額を伸ばし、既存の投信を大きく上回る流入超過額となりました。また1～7月の累計でも、2位以下に大差をつけて純流入トップでした。ESGとは、「Environment(環境)」「Social(社会)」「Governance(企業統治)」の頭文字。環境や社会問題、企業統治に配慮する企業は、経営の面で優れているという評価を投資家から受け、株式市場で

も注目が高まっています。

純流出入ともに、1～7月累計の上位は6月までとほぼ同じで、順位が入れ替わりました。「ひふみプラス」は7月の純流出額が247億円と急増し、7月までの累計で純流出額のトップになりました。「日本を根っこから元気にする」というコンセプトで、東証株価指数(TOPIX)を上回る運用が続きますが、利益を確定したい投資家の解約によると私はみえています。